

香川の
土地改良

みどり
水と里ネット香川

発行所
香川県土地改良事業団体連合会
高松市番町五丁目1番29号
TEL (087) 832-7140
FAX (087) 832-7150
<http://www.midorinet-kagawa.or.jp/>



中山千枚田（小豆島町）

目次

1. 令和3年度農林水産予算概算要求……………2～3
2. 「香川ため池保全管理サポートセンター」開設……………4
3. 令和2年度多面的機能支払交付金説明会開催……………5
4. 「水を追う男・西嶋八兵衛物語り」第八回……………6
5. 香川用水資料館団体見学……………7
6. まんのう町土地改良区合併予備契約調印式／人事異動／会と催し……………8

令和3年度農林水産予算概算要求

9月30日、農林水産省の令和3年度予算の概算要求が発表され、予算総額は、対前年度比120.0%の2兆7,734億円、このうち、公共事業費は8,464億円（対前年度比121.1%）、非公共事業費は1兆9,270億円（対前年度比119.5%）となっている。

また、農林水産省予算のうち、農村振興局関係予算における公共事業費の農業農村整備は、対前年度比122.0%の3,983億円となっており、これに農山漁村地域整備交付金（農業農村整備分）と農地耕作条件改善事業等（非公共）を合わせた農業農村整備事業関係予算は、対前年度比122.0%の5,408億円と大幅な増額要求となっている。

総括表

区 分	令和2年度 予 算 額	令和3年度 要 求 ・ 要 望 額	対前年度比
	億円	億円	%
農林水産予算総額	23,109	27,734	120.0
1. 公共事業費	6,989	8,464	121.1
一般公共事業費	6,793	8,268	121.7
災害復旧等事業費	196	196	100.0
2. 非公共事業費	16,120	19,270	119.5

(注) 1 金額は、関係ベース。2年度予算額は「臨時・特別の措置」を除いた額
 2 計数整理の結果、異動を生じることがある。
 3 計数は四捨五入のため、端数において合計とは一致しないものがある。

農業農村整備事業関係予算の概要

	令和2年度 当初予算額	令和3年度 概算要求額	対前年度比
	億円	億円	%
農業農村整備事業	3,264	3,983	122.0
農山漁村地域整備交付金 （農業農村整備分）	661	793	120.0
農地耕作条件改善事業 農業水路等長寿命化・防災減災事業 （非公共）	508	633	124.6
計	4,433	5,408	122.0

(注) 1 令和2年度当初予算額は「臨時・特別の措置」を除いた金額。
 2 計数は四捨五入のため、端数において合計とは一致しないものがある。

概算要求の重点事項（土地改良事業関係抜粋）

1. 生産基盤の強化と経営所得安定対策の着実な実施

（1）農業の持続性の確保に向けた生産基盤の強化

①水田フル活用の推進

○水田農業の高収益化の推進

・高収益作物の導入・定着を図るため、「水田農業高収益化推進計画」に基づき、国、地方公共団体等の関係部局が連携し、水田での高収益作物への転換、水田の畑地化・汎用化のための基盤整備、栽培技術や機械・施設の導入、販路の確保等の取組を計画的・一体的に推進

（水田活用の直接支払交付金）

3,050億円の内数

（持続的生産強化対策事業）

215億円の内数

（農業農村整備事業）

3,983億円の内数

（強い農業・担い手づくり総合支援交付金）

245億円の内数

（スマート農業総合推進対策事業）

55億円の内数

2. 農業農村整備、農地集積・集約化、担い手確保・経営継承の推進

（1）競争力強化・国土強靱化のための農業農村整備の計画的な推進

①農業農村整備事業＜公共＞

3,983億円

農業の競争力強化や農村地域の国土強靱化を図るため、農地の大区画化・汎用化、農業水利施設の適切な更新・長寿命化、防災重点農業用ため池対策の強化、農業用ダムの洪水調節機能強化や田んぼダムの取組拡大等を推進

②農地耕作条件改善事業

300億円

農地中間管理機構による担い手への農地の集積・集約化、麦・大豆や高収益作物への転換を推進するため、機構による担い手への農地の集積・集約化が行われる地域等において、農業者の費用負担の軽減を図りつつ、農地の区画拡大等を促進

③農業水路等長寿命化・防災減災事業

333億円

農業生産活動の基盤となる農業水利施設の機能を安定的に発揮させるため、機動的・効率的な長寿命化・防災減災対策を支援

④農山漁村地域整備交付金＜公共＞

（農業農村整備分）793億円

地方の裁量によって実施する農林水産業の基盤整備や農山漁村の防災・減災対策に必要な交付金を交付

3. 農山漁村の活性化

（1）日本型直接支払の実施

①多面的機能支払交付金

491億円

農業・農村の有する多面的機能が維持・発揮されるとともに地域全体で担い手を支えるため、農業者等で構成される活動組織が農地を農地として維持していくために行う地域活動、地域住民を含む活動組織が行う地域資源の質的向上を図る活動に交付金を交付

②中山間地域等直接支払交付金

268億円

中山間地域等における農業生産条件の不利を補正するため、棚田地域を含む中山間地域等での農業生産活動を継続して行う農業者等に交付金を交付

「香川ため池保全管理サポートセンター」開設



10月1日、豪雨などによるため池の決壊を防ぐため、適正な管理を支援する「香川ため池保全管理サポートセンター」を香川県土地改良事業団体連合会内に開設した。

関係者が見守るなか、田井香川県農政水産部次長と大山会長の手により、事務所入り口に「香川ため池保全管理サポートセンター」の看板が取り付けられ、サポートセンターの業務がスタートした。

大山会長は「県内でため池の老朽化や管理者の高齢化が進む中、適切なサポートを行っていききたい。」と述べた。

同センターでは、2018年の西日本豪雨でため池の決壊が各地で相次いだことを踏まえ、県や17市町、本会が共同で設置。土地改良事業に長年携わってきた本会の専門技術者であるため池サポートセンター長白川邦明を始めとした職員5人が担当する。防災重点ため池を順次パトロールし、堤防や洪水吐などの劣化具合をチェックするほか、ため池管理のポ

イントについて管理者にアドバイスを行う。

県内のため池の数は約14,600ヶ所所で全国第3位。このうち5,849ヶ所が防災重点ため池に選定されている。これらのため池の機能を維持し、災害時にも被害を最小限にとどめるためには、平素の適正な保全管理と大雨などに対する安全性確保の対策を取っておくことが必要となり、同センターの活動が期待されている。



パトロールに向かうサポートセンター職員



サポートセンター職員の執務状況

お問い合わせ先

ため池管理者の管理に関する相談
パトロール等の業務に関すること

香川ため池保全管理サポートセンター

TEL : 087-899-2910

FAX : 087-899-2911

Eメール : tameike-spc@midorinet-kagawa.or.jp

令和2年度多面的機能支払交付金 説明会開催

香川県多面的機能発揮促進協議会は、多面的機能支払交付金制度の一部改正に伴い、県内の14会場において説明会を開催した。

今年はコロナ禍での開催となり、活動組織の多い市町においては、複数回に分けて説明会を行い、活動組織の代表者等583名の参加を得た。

説明会では、災害時に活動組織間での交付金の融通が可能になったこと、多面的機能の増進を図る活動の取組内容の拡充や農村協働力の深化に向けた活動の加算措置の要件緩和、草刈りなどの共同活動における作業安全を推進するための機械の安全使用に関する研修会が追加になったこと等変更点について説明するとともに、活動や各種書類作成の注意点についても説明を行った。

説明会一覧表		
開催日	市町名	参加数
7月13日 14日	観音寺市	79
7月14日 15日 20日 21日	三豊市	115
8月25日	さぬき市	34
8月26日	土庄町 小豆島町	3 8
8月28日	坂出市	16
8月28日	多度津町	15
8月31日	丸亀市	66
9月3日	東かがわ市	27
9月4日	高松市	45
9月7日	三木町	29
9月9日	琴平町	8
9月9日	まんのう町	49
9月14日	善通寺市	40
6月12日	綾川町	49
計		583



東讃管内



小豆管内



中讃管内



西讃管内

水を追う男・西嶋八兵衛物語り

第八回 八兵衛が県下の主要溜池を築造

「四国作家」同人 平井 忠志

八兵衛は満濃池復旧の段取りをしながら領内を回り、次々とため池築造の縄張りを行った。堤長千七百メートル、水面積三十町歩に余る巨大な小田池（高松市）や堤長六百メートルを超える竜満池（旧香川町）も計画した。ほかに鶴生池（旧綾南町）、鎌田池（坂出市）、山大寺池（三木町）、瀬丸池（旧高瀬町）、なども縄張りして普請方に工事をやらせている。さらに岩瀬池（旧高瀬町）や岩鍋池（観音寺市）の増築も手掛けるという、まさに東奔西走の忙しさであった。

そんな中で、八兵衛が満濃池の工事に取りかかったのは、寛永五年（1628）の秋で、完成までに二年四か月というスピード工事である。現在残っている『満濃池古図』（鎌田共済会所有）の余白に、その工程と共に専任の普請奉行二人の名前も書かれている。

「寛永五年辰年 奉行西嶋八兵衛之尤 十月十九日鋤初 代官出張 番匠喚

「寛永八年羊年 二月十五日 芝付悉皆出来 上棟式終」

「普請奉行 下津平左右衛門・福家七郎右衛門」

八兵衛は満濃池を築くにあたり、矢原又右衛門から貴重な助言を受けた。

「まず、金倉川沿岸の大庄屋たちを集めなされ。何百年も放置された満濃池です。いきなり金倉川をせき止めて、満濃池を築くと、金倉川の水で田植えしていた百姓たちが混乱します」

なるほどと、八兵衛は思った。金倉川からの取水は、長年の取水慣行が定着していたはずである。満濃池からの配水のルールを文書化しておかないと、後日紛争の種になりかねない。八兵衛はさっそく大庄屋たちを集めて、それぞれの意見を具申させた。

「私たち上流の村は、金倉川の水だけが頼りです。水田だけでなく生活用水です。牛馬の飲み水でもあります」

「私たち下流の村は、いつも上流に水を取られ、干天のときは一滴の水も取れません。満濃池は私たちも負担して造る池です。公平に配水願います」

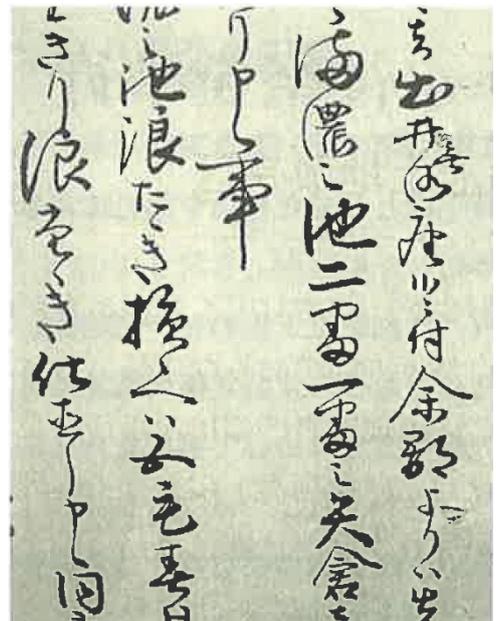
大庄屋たちは口々に己の立場を主張した。大庄屋たち一人一人の言い分を聞いていたのでは、収まりがつかない。

「皆、聞きなされ。今から満濃池の配水地域を、大きく二つに分ける」

八兵衛は金倉川の上流地域十五か村を上之郷と名付け、下流地域を下之郷と名付けた。

「満濃池の水はそれぞれ二つの地域に配分するから、あとは内間で相談しながら利用してくれ」

これは賢いやり方であった。配水の苦情は、すべて内部で解決させるやり方である。



満濃池取水の「証文水」の慣行

香川用水資料館団体見学

香川用水資料館では、香川用水の歴史を後世に伝承し、その恩恵に対する認識を深めるとともに、水源地域への感謝と水の大切さを伝えるために、「香川用水」や「ため池の役割」、「土地改良事業」などについて学習できるプログラムを用意し、団体見学会を開催している。今年は、新型コロナウイルス対策のため、3班にグループを分け、「DVD鑑賞」、「展示室の説明」及び「ため池や水路の役割について」の見学を行った。

9月29日は、高松市立牟礼北小学校の4年生2クラス65名の児童を対象に、県及び香川県土地改良事業団体連合会の職員が講師となり、説明を行った。見学は、クイズや実際に光波測距儀を使用した測量作業等の体験を交えて楽しく行われ、児童たちは積極的に質問し、メモを取りながら熱心に学んだ。

見学を終え児童たちは、「香川用水は、徳島県や高知県からの『友情の水』だということを知った。感謝を伝えたい。」「水は貴重だということが分かった。これからは、水を大切に使うようにしたい。」と感想を話していた。



展示室の見学



DVD鑑賞



「ため池や水路の役割について」



光波測距儀を使用した測量体験

まんのう町土地改良区合併予備契約調印式



10月1日、まんのう町仲南支所において、まんのう町土地改良区合併予備契約調印式が行われた。

冒頭、栗田町長は、「まんのう町としても引き続き、土地改良区の今後を見据えた上で、土地改良区の役割を明確にし、地域になくてはならない組織を醸成しようと考えているので、今後とも、ご支援、ご指導をお願いしたい。」と述べた。

まんのう町土地改良区は、令和元年7月24日に統合整備推進協議会を設置し、統合推進スケジュールの設定・統合整備計画の検討及び樹立を経て合併予備契約調印式が行われた。今後は、各土地改良区が仮事業報告書等を作成し、合併財務等を相互確認した後、臨時総代会で合併の議決、合併予備契約の承認等を終え、設立委員会を設置、12月上旬に合併設立認可申請を行う予定としている。

人事異動

(10月1日付)

【香川県土地改良事業団体連合会】

新規採用

氏名	新
太田久夫	会員支援課 専門員
岡賢治	会員支援課 専門員

会と催し

開催月日	会の名称	開催場所
10月1日	まんのう町土地改良区統合整備推進協議会第5回委員会 まんのう町土地改良区合併予備契約調印式	まんのう町
10月8日	令和2年度換地関係異議紛争処理実務研修会	岡山市